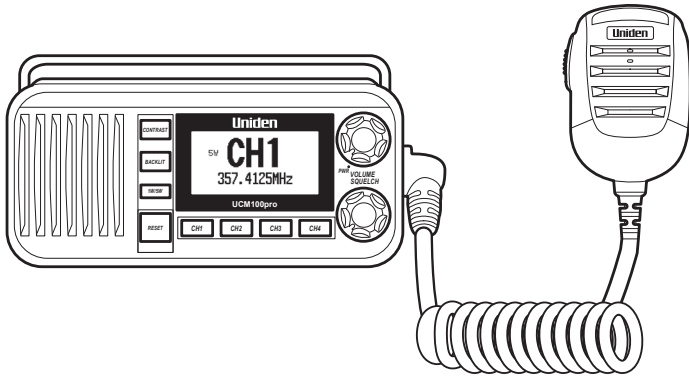


取扱説明書 357MHz 帯海上用無線機

品番 UCM100pro



本製品を使用するには、総務省発給の無線局免許が必要です。免許を受けずに使用した場合、電波法第 110 条の規定により処罰の対象となります。

このたびはユニデン 357MHz 帯海上用無線機をお買い上げいただきありがとうございます。

- 製品をご使用になる際は必ず「安全上のご注意」をお読みください。安全のための注意事項をお守りいただけない場合は、お使いになるかたや他の人への危害や物的損害の原因となることがあります。
- この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みの上、安全にお使いください。
- 保証書は大切に保管してください。

最新の商品情報やサポート情報はホームページにてご覧いただけます。

https://unidenholdings.jp/uniden_jp/

もくじ

はじめに	3	ご参考	17
安全上のご注意	3	故障かなと思ったら	17
使用上のご注意	6	強制リセットを行う	18
電波法に関するご注意	6	工場出荷時の設定に戻す（設定初期化）	18
運用上のご注意	6	おもな仕様	19
お手入れについて	7	別売品一覧	19
防水性能について	7	外形寸法図	20
		■本体	20
		■ブラケット	21
		■フラッシュマウントブラケット （FMB321、別売品）	22
ご使用前の準備	8	クイック設定表	23
本体と付属品	8	エラー表示／動作表	23
各部のなまえ	9		
■本体（正面）／マイクロホン	9		
■本体（背面）	10		
■液晶ディスプレイ	10		
準備する	11		
本体を設置する	11		
■ブラケットに本体を取り付ける	11		
■ブラケットを取付面に固定する	12		
■マイクハンガーを固定する	12		
■フラッシュマウントブラケットキット （FMB321、別売品）で取り付ける	12		
アンテナを接続する	13		
電源および外部機器を接続する	13		
アクセサリケーブル	14		
■ヒューズを交換するとき	14		
基本操作のしかた	15		
ご使用になる前に	15		
チャンネルについて	15		
電源を入れる／切る	15		
音量の調節	15		
スケルチレベルの調整	15		
受信と送信のしかた	16		

はじめに

安全上のご注意

製品を正しく安全にご使用いただくために、ご使用前に必ず次の事項をお読みください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

火災、感電などにより死亡や大けがを負うおそれがある内容を示しています。



注意

けがをしたり周囲の物品に損害を与えるおそれのある内容を示しています。

絵表示の説明

注意をうながす記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号
 一般的注意	 禁止	 分解禁止
		 一般的指示

警告

直射日光の当たる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口付近など、温度変化の著しい場所に設置しないでください



ケースや部品が変形、変色したり、火災、故障の原因になることがあります。

落下したりはずれたりしないよう、確実に取り付けてください



取り付けが弱いと航行中にはずれる、落下するなどし、事故やけがの原因になることがあります。

強い磁界や静電気の発生する場所では使用しないでください



故障の原因になることがあります。

引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください



引火や火災、爆発の原因になります。

安全上のご注意 (つづき)

警告

製品を分解・改造したり、ご自分で修理したりしないでください



火災、感電などの事故、または故障の原因になります。

煙が出ている、変なにおいがするなどの異常が発生した場合は、すぐに使用を中止してください



そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
異常が認められた場合はすぐに電源を切り、お買い上げの販売店、または弊社お客様センターにご連絡ください。

指定以外の電源・電圧では使用しないでください



火災、感電、故障の原因になります。

DC 電源ケーブルを接続する際は、プラス (+) とマイナス (-) の極性を間違えないよう十分確認してください

火災、感電、故障の原因になります。

DC 電源ケーブルのヒューズホルダは、絶対に切断しないでください



ショートして発火、火災などの原因になります。

必ず規定のヒューズをご使用ください



規定以外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因になることがあります。

ケーブル類を踏みつけたり、重いものを載せたりしないでください



火災や感電のおそれがあります。

ケーブル類を加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください



ショートして発火したり、故障や感電の原因になることがあります。

アンテナを取り付けずに送信したり、送信しながらアンテナを取り付けたり取りはずしたりしないでください



感電、故障の原因になります。

DC 電源ケーブルのコネクター部分にホコリが付着したまま使用しないでください



火災、感電、故障の原因になります。

落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください



けが、故障の原因になることがあります。

雷が鳴り出したら、本機やアンテナ線、DC 電源ケーブルには絶対に触らないでください



感電の原因となります。

針金などの導電物を差し込まないでください



感電や故障の原因になることがあります。

乳幼児の手の届かない場所で使用してください



感電やけがの原因になります。

■安全上のご注意 (つづき)

⚠警告

マイクロホンを振り回したり、投げたりしないでください



けがや故障、破損の原因になります。

⚠注意

本機を水のかかるところや湿気、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所に設置しないでください



火災、故障の原因になります。

使用温度範囲を超えた温度となる場所では使用しないでください



故障の原因になることがあります。
(※本製品の使用温度範囲：-15℃～+55℃)

本機を他の製品と重ねたり、本機どうしを重ねて設置しないでください



火災、故障の原因になります。

ぐらついた台の上や傾いたところ、振動の大きいところなど、不安定な場所に設置しないでください



落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

ケーブル類を抜き差しするときは、必ずプラグの部分を持って行ってください



感電やショートし、発火の原因になることがあります。

雨水や水滴が付着したままの状態、またはぬれた手で電源ケーブルや接続ケーブルを抜き差ししないでください



感電の原因になることがあります。

コネクターや端子部に金属片やゴミが付着したまま使用しないでください



ショートして発火の原因になることがあります。

テレビやラジオ、またはインバーターを内蔵した電子機器の周辺では使用しないでください



電波障害を受けたり、与えたりすることがあります。

使用中は本機背面のヒートシンク(放熱器)部分に触れないようご注意ください



やけどのおそれがあります。

お手入れの際は、シンナーやベンジンなどを使用しないでください



変質・変色の原因になることがあります。お手入れは乾いたやわらかい布で行ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少し含ませ拭いてください。

■ 使用上のご注意

- 本製品を分解したり改造したりすることは法律で禁じられています。絶対に行わないでください。
- お客様や第三者が誤った使用方法で本製品を使用したことによる故障や不具合、あるいはその使用によって生じた損害について、法令上の賠償責任が認められた場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

電波法に関するご注意

- 本製品は電波法に基づき、特定無線設備の工事設計についての認証（技術基準適合証明）を取得した製品です。
これは簡単な手続きにより本製品をお使いいただくためのものです。本製品を分解や改造して使用すると、電波法違反により罰せられます。
- 免許状に記載されている範囲内で運用してください。
特に他の無線局の通信を妨害したり、通信の秘密の保護を侵したりすることはかたく禁じられています。
- 船舶局の免許の有効期限は原則 5 年間です。免許状の有効期限を確認し、再免許の申請手続きは、免許の失効する 6 ヶ月前から 3 ヶ月前の間に行ってください。

運用上のご注意

- 本製品を船舶局として使用する場合、第三級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。
- 無資格など資格要件を満たさない人が使用すると、電波法違反で罰せられます。
- 本製品は海上用無線機です。海上の船舶との通信以外で使用すると、電波法違反で罰せられます。
- 本製品は定期検査を受ける必要があります。定期検査の詳細については所轄の総合通信局等にご確認下さい。

■ 使用上のご注意 (つづき)

お手入れについて

本体に海水や砂、泥などが付着したときは真水でよく洗い流してください。
その後乾いた柔らかい布で水分をふき取り、十分乾燥させてください。

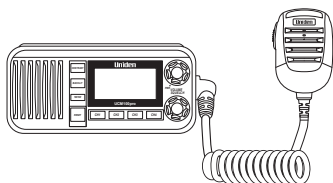
防水性能について

本製品は、IPX8 相当の防水性能がありますが、完全防水構造ではありません。
次のような使いかたをした場合、防水性能を維持できませんのでご注意ください。

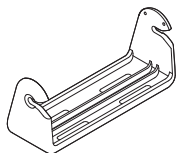
- 水深 1.5 m 以上の水中に沈めたとき、または 30 分以上水中に放置したとき
- 長時間、高い水圧をかけたとき
- 蛇口から直接水や湯を当てたとき
- 海水や砂、泥などが本体に付着したまま放置したとき
- 落下等の外的衝撃による樹脂部分の変形、ゆがみ、ひび割れなどが発生した場合
- 薬品等の付着により筐体、ゴムパッキン部が変質したり、劣化が生じたとき
- 薬品等の蒸気が発散する場所、または薬品等に触れる場所に放置したとき
- 電源コードや外部スピーカー等、本機に接続した外部機器との接続ケーブルに防水処理をしていない場合
- 使用温度範囲外で使用したとき

ご使用前の準備

■ 本体と付属品



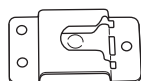
本 体



ブラケット



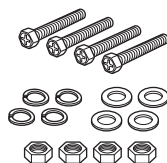
ブラケット取付用ノブ
(一式)



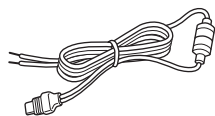
マイクハンガー



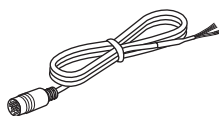
マイクハンガー取付ねじ



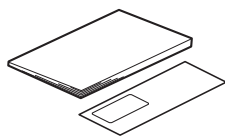
ブラケット取付ねじ (一式)



DC 電源ケーブル
(ヒューズホルダ付・定格 3A)



アクセサリケーブル

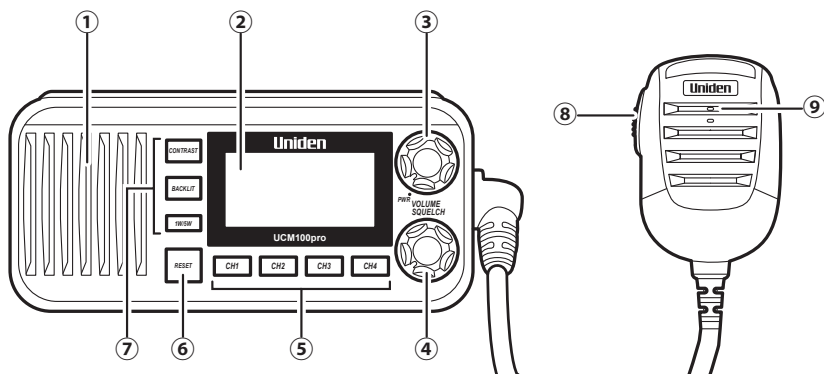


取扱説明書・保証書

- ※ 保証書にはお買い上げ日をご記入の上、大切に保管してください。
- ※ この取扱説明書のイラスト・画面などは説明のため、実際のものとは異なる場合があります。

■ 各部のなまえ

■ 本体 (正面) / マイクロホン



① スピーカー

② 液晶ディスプレイ

表示内容について (⇒ 10 ページ)

③ [PWR/VOLUME] ノブ

- ・ 時計方向に回すと電源が入り, さらに回すと音量が大きくなります。
- ・ 半時計方向に回すと音量が小さくなり, 回し切ると電源が切れます。

④ [SQUELCH] ノブ

受信時のノイズレベルを調整するスケルチを設定します。

⑤ [CH1] ~ [CH4] キー

- ・ 運用チャンネルを直接選択することができます。(⇒ 15 ページ)
- ・ ディスプレイ中央にチャンネルと周波数が表示されます。

⑥ [RESET] 保護カバー/キー

保護カバーを上げキーを押すと無線機を強制的に再起動することができます。
※保護カバーを上げて押します。

⑦ 機能キー

[CONTRAST] キー

LCD のコントラストレベルを 4 ステップで調整することができます。

[BACKLIT] キー

バックライトの輝度を OFF, 3 ステップで調整することができます。

[1W/5W] キー

キー押すごとに送信出力を 1W と 5W に切替えることができます。

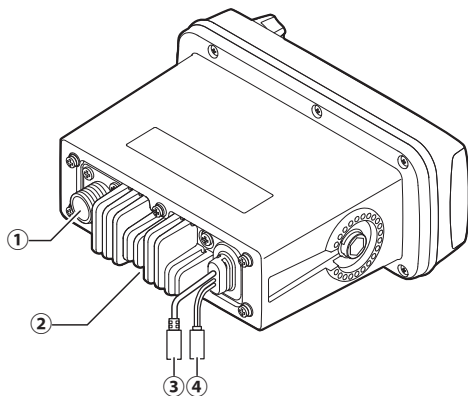
⑧ PTT (送信) スイッチ

押している間は送信状態、離すと受信状態になります。(⇒ 16 ページ)

⑨ マイクロホン

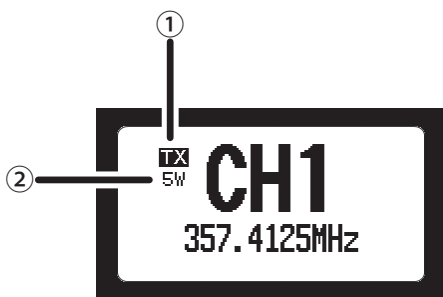
■ 各部のなまえ (つづき)

■ 本体 (背面)



- ① アンテナコネクタ
- ② ヒートシンク
- ③ 外部スピーカー接続端子
外部スピーカー（市販品）を接続する端子です。
- ④ 電源コネクタ

■ 液晶ディスプレイ



※画面は説明のためのものであり、実際の表示状態とは異なります。

状況に応じて各種ステータスメッセージが表示されます。

	表示メッセージ	内容
①	TX	送信中
	BUSY	受信中またはビジー
②	1W	送信出力が 1W に設定されている時に点灯します。
	5W	送信出力が 5W に設定されている時に点灯します。

■ 準備する

■ 本体を設置する

付属の本体取付ブラケットを使用して本体を取り付けてください。
ブラケットの取付方向を変えることにより「据え置き」、「吊り下げ」いずれかの方法で取り付けることができます。

■ ご注意！

取付場所の選定に際しては、以下の点にご留意ください。

- ・操船に支障がないか
- ・設置する場所の近傍に磁気コンパスがないか
※磁気コンパスからは1m以上離して設置してください。
- ・各スイッチやツマミなどの操作は容易に行えるか
- ・後面のケーブル類が折れ曲がったりすることなく納まる十分な空間があるか
- ・熱がこもらないよう周囲（特に後面）に十分な空間があるか
- ・波の衝撃やエンジンの振動などを大きく受ける場所ではないか
- ・水のかかるところや湿気、ほこりの多い場所ではないか
- ・取付面は本体（重さ約1kg）を支えるのに十分な強度があるか

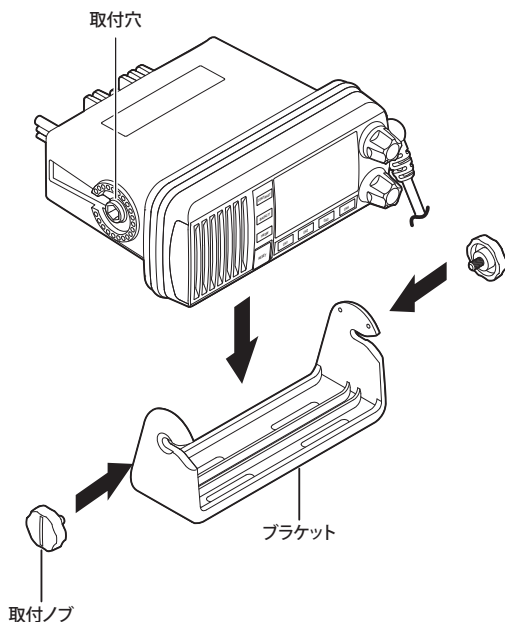
■ ブラケットに本体を取り付ける

- 1** ブラケットの切れ込みを本体
左右の取付穴に合わせます。

※ 右図は「据え置き」取り付けの場合です。「吊り下げ」取り付けの場合はブラケットを天地逆にして取り付けてください。

- 2** ブラケットを挟み込むようにして取付ノブを締め付けます。

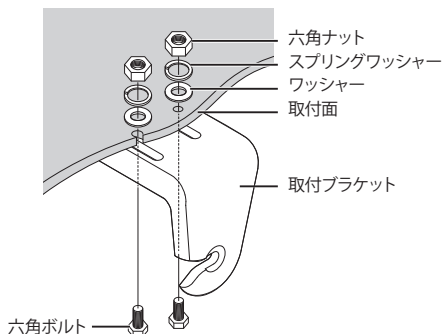
きつく締め付ける前に、ディスプレイ部が見やすい角度になるよう本体を調整してください。



準備する (つづき)

■ ブラケットを取付面に固定する

付属の取付ねじ類を使用して、右図の要領で取付面にしっかりと固定してください。



■ マイクハンガーを固定する

本体の取付位置が決まったら、本体付近の扱いやすい場所に、付属のマイクハンガーを取付金具を使用して取り付けてください。

■ フラッシュマウントブラケットキット (FMB321、別売品) で取り付ける

148 mm × 57 mm の開口部が必要となります。※背面の配線類を収納するため、後方には150mm 以上のクリアランスを確保してください (アンテナケーブルを除く)。アンテナの配線についてアンテナの説明書などをご参照ください。※ 開口部寸法について (➡ 22 ページ)

1 開口部に本機をスライドさせて差し込みます。

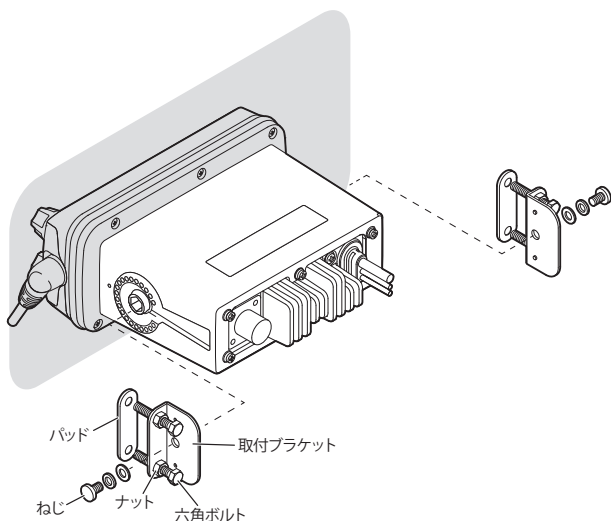
2 付属のねじ 2 本で、無線機の両側に取付ブラケットを取り付けます。

取付ブラケットが無線機本体と平行に揃っていることを確認してください。

3 取付ブラケットが無線機のコントロールパネルの内側にしっかりと押し付けられるように、4 本の六角ボルトを締めます。

取付ブラケットのパッドを、取付面の内側にしっかりと押し付けてください。

4 4 つのナットで緩まないよう、無線機をしっかりと取り付けます。



準備する (つづき)

アンテナを接続する

アンテナについてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
本体との接続には M 型コネクタ (PL-259 コネクタ) を使用してください。

ご注意!

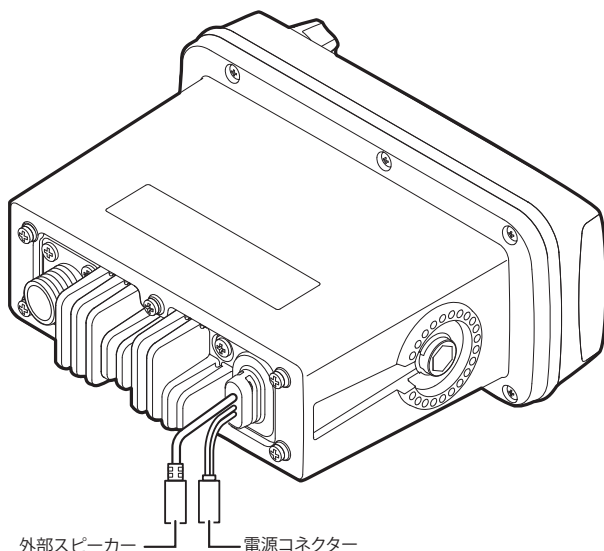
- ・本機にアンテナを接続していないときは、絶対に送信を行わないでください。
接続しないで使用すると、故障の原因となります。

電源および外部機器を接続する

下図を参照して電源を接続してください。
スピーカーは本体に内蔵されていますが、外部スピーカー (市販品) を接続したい場合は下図を参照してください。

※ 外部スピーカーは 8 Ω 時 2W 以上のものをご使用ください。

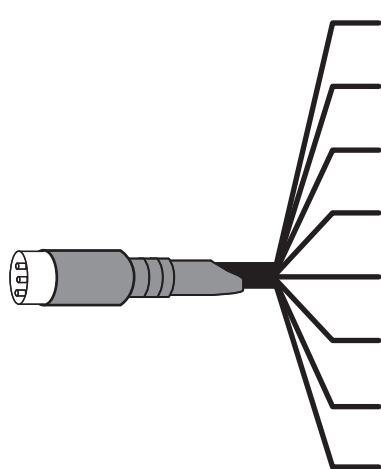
※ 外部スピーカーの接続後は必ず、接続部分を自己融着プチルテープ等で絶縁・防水処理してください。



■ 準備する (つづき)

電源要件	アンテナ要件
マイナス接地極付きの公称 13.8 V (10.5 DCV ~ 16.0 DCV) の直流電源であること。 できる限り短い電源リード線を電源に直接接続すること。	アンテナについてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

アクセサリケーブル



線色	説明	接続先
黄	NC (接続しない)	
緑	NC (接続しない)	
白	NC (接続しない)	
茶	NC (接続しない)	
赤	外部スピーカー (+)	外部スピーカー (+)
裸線	接地 / 外部スピーカー (-)	外部スピーカー (-)
黒	NC (接続しない)	
橙	NC (接続しない)	

■ ヒューズを交換するとき

図の要領でヒューズホルダをはずし、中のヒューズを交換してください (定格 3A)。



- ※ ヒューズは必ず規定のものをお使いください。
- ※ ヒューズホルダをはずす際は、折り曲げすぎないようにご注意ください。折り曲げすぎると中のヒューズが破損します。

基本操作のしかた

■ ご使用になる前に

チャンネルについて

以下のチャンネルから運用したいチャンネルキーを選択します。

CH1	357.4125MHz
CH2	357.4250MHz
CH3	357.4375MHz
CH4	357.4500MHz

電源を入れる／切る

[**PWR/VOLUME**] ノブをゆっくり右方向に回すと、電源が入ります。

・ ディスプレイにオープニング画面の次にチャンネルが表示されます。

電源を切るには、[**PWR/VOLUME**] ノブを反時計方向に回し切ると画面表示が消えます。

音量の調整

音量は [**PWR/VOLUME**] ノブを回して適切な大きさに調整します。

- ・ 時計方向に回すと音量が上がります。
- ・ 反時計方向に回すと音量下がります。

スケルチレベルの調整

スケルチレベルは、スタンバイ状態（送受信画面）で [**SQUELCH**] ノブを回して調整します。無信号時のノイズを低減するのに適切なレベルに調整してください。

アドバイス

- 反時計方向に回しノイズが出る状態（BUSY が点灯）にします。
ゆっくり時計方向に回してノイズが消える状態（BUSY が消灯）にします。
- 時計方向に回すほどスケルチが開きにくくなり、強い信号のみ受信することができます。
- 反時計方向に回すほどスケルチが開きやすくなり、弱い信号でも受信しやすくなります。



スケルチが開くと BUSY が点灯する

ご使用になる前に (つづき)

受信と送信のしかた

1 [PWR/VOLUME] ノブをゆっくり時計方向へ回すと本機の電源が入る

2 [PWR/VOLUME] ノブを回して音量を調節する

3 [SQUELCH] ノブを回してノイズが消えるレベルに調整する

4 [CH1] ~ [CH4] キーを押して運用するチャンネルを選ぶ

信号を受信すると、スピーカーから音声が聞こえます。
(必要に応じ、再度音量を調節してください。)

5 [1W/5W] (送信出力) キーを押して送信出力を選ぶ

キーを押したときに「Transmit Power Changed to 1W または 5W」が
3 秒間表示されます。

通信距離に応じて適切な送信出力を選びます。

1W	近距離通信の場合
5W	長距離通信の場合

6 PTT (送信) スイッチを押しながら、マイクに向かって話す

送信中は、ディスプレイ部に「TX」と表示されます。

PTT を押したとき「Transmitting at 1W または 5W」が 3 秒間表示されます。

7 話し終わったら、PTT (送信) スイッチを離す

受信状態に戻ります。

PTT を離したとき、「Receive Mode」が 3 秒間表示されます。

注意

故障等で規定以上の送信出力が出ない場合は、「TX」アイコンが点灯しません。

この症状が起きた場合は、裏表紙のお客センターへご連絡ください。

アドバイス

● タイムアウトタイマー機能

本製品は 5 分間連続して送信状態が続いた場合、強制的に送信を停止します。

● マイクに向かって話すときは…

マイクと口元は 5cm ほど離し、普通の大きさの声でお話してください。

マイクに近づけすぎたり大きな声で話すと、音が割れるなど、かえって不明瞭となります。

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に次のことをもう一度お調べください。

次のことを調べても、なお異常があるときは、<ユニデン>お客様センターへお電話いただくか、または<ユニデン>ホームページよりお問い合わせください。(➡裏表紙をご覧ください。)

症 状	ここをチェック	対 処	参照 ページ
電源が入らない	電源ケーブルは接続されていますか？	接続を確認してください。	13
	ヒューズが切れていませんか？	ヒューズ切れの原因を特定し、対処したのちヒューズを新しいものに交換してください。	14
スピーカーから音が出ない	スケルチレベルが高すぎませんか？	スケルチレベルを雑音が聞こえだす直前のレベルに設定してください。	15
	音量レベルが小さすぎませんか？	音量を適切なレベルに設定してください。	15
スピーカーから常に雑音がる	スケルチレベルが低すぎませんか？	スケルチレベルを雑音が聞こえだす直前のレベルに設定してください。	15
送信が停止する	一度に5分以上連続して送信していませんか？	一旦送信を終了し、再度送信してください。	16
送信はできるが応答がない	送信出力は 5W ですか？	送信出力が 1W の場合は、 [1W/5W] キーを押して送信出力を 5W に切り替えてください。	16
	PTT スイッチを押してもディスプレイに「TX」が点灯しませんか？	「TX」が消灯している場合は故障等で規定以上の送信出力が出ていない場合があります。	16
	相手局と同じチャンネルで交信していますか？	チャンネルを確認し交信相手と同じチャンネルに設定してください。	15

■故障かなと思ったら (つづき)

強制リセットを行う

[**RESET**] 保護カバーを上げてキーを押します。
本機が再起動され、オープニング画面から運用チャンネルが表示されます。

工場出荷時の設定に戻す (設定初期化)

[**CONTRAST**] キーを押しながら電源を入れると工場出荷時の設定に戻ります。

おもな仕様

一般仕様	送信周波数範囲	357.4125 ~ 357.4500 MHz
	受信周波数範囲	357.4125 ~ 357.4500 MHz
	チャンネル数	4ch
	電波型式	F3E
	使用温度範囲	- 15°C ~ + 55°C
	電源電圧	13.8V DC ± 15% (マイナス接地)
	消費電流 (13.8V 時)	約 1.2A (送信時: 5W)
		約 0.6A (送信時: 1W)
		約 0.2A (待ち受け時) 約 0.6A (受信最大出力時)
	アンテナインピーダンス	50 Ω (不平衡)
外形寸法 (突起部を除く)	168.5 (W) × 77.1 (H) × 128 (D) mm	
重量	約 1.0kg	
送信部	送信出力	5W/1W
	変調方式	リアクタンス変調
	最大周波数偏移	± 2.5kHz 以下
	スプリアス発射強度	2.5 μW 以下
受信部	受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
	受信感度	0.25 μV (Typ.)
	オーディオ出力	約 1.4W (8 Ω、10% 歪時)
	外部スピーカー	2W (8 Ω)

- 仕様、外観などは改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 識別表示は本体底面に記載してあります。

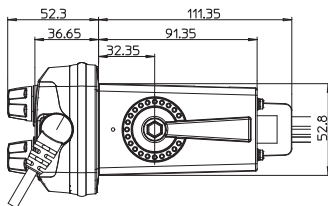
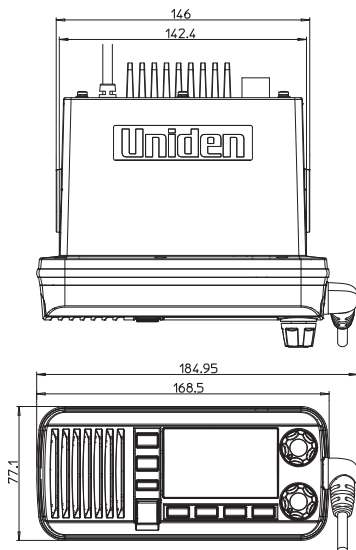
別売品一覧

品番	品名
FMB321	フラッシュマウントブラケット

外形寸法図

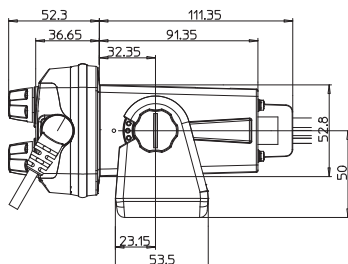
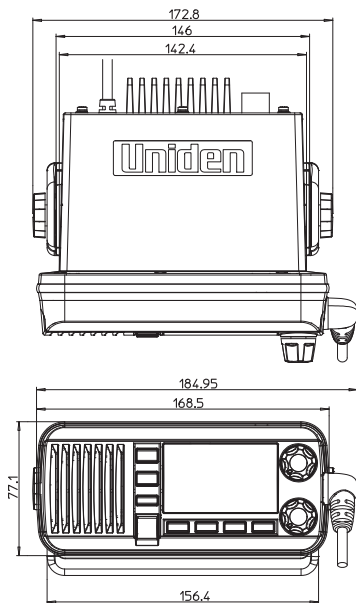
■ 本体

(単位:mm)



■ 本体 (ブラケット使用時)

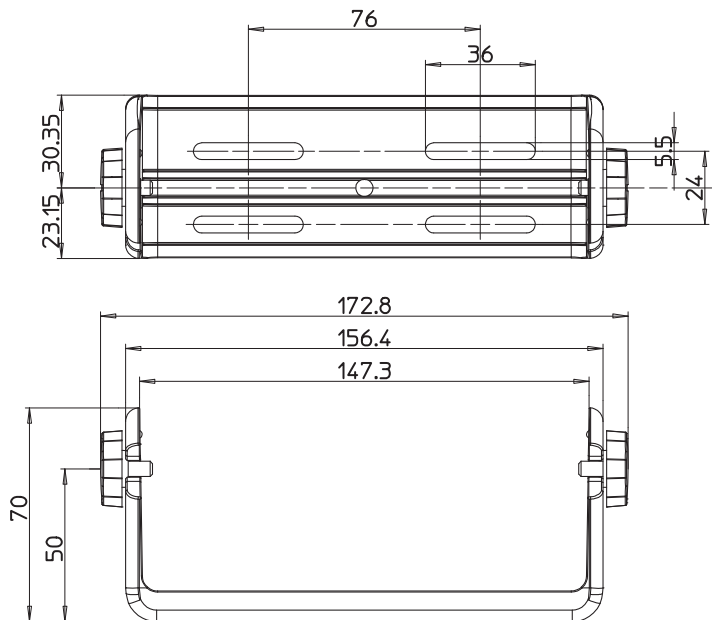
(単位:mm)



■外形寸法図 (つづき)

■ ブラケット

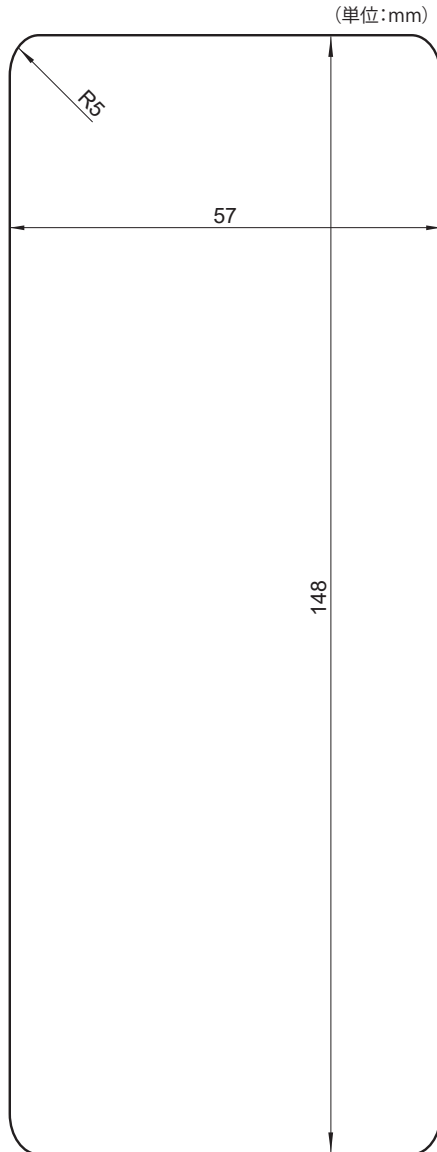
(単位:mm)



■外形寸法図 (つづき)

■ フラッシュマウントブラケット (FMB321、別売品)

取付用開口寸法【原寸大】



クイック設定表

電源入/切	[PWR/VOLUME] ノブを回す
音量調整	[PWR/VOLUME] ノブを回す
スケルチ調整	[SQUELCH] ノブを回す
コントラスト	[CONTRAST] キーを押すごとに設定する (4 ステップ)
バックライト	[BACKLIT] キーを押すごとに設定する (OFF/3 ステップ)
チャンネル切替	[CH1] ~ [CH4] キーを選択する
出力切替	[1W/5W] キーを押すごとに設定する
強制リセット	[RESET] カバーを上げてキーを押す
設定を工場出荷時に戻す	[CONTRAST] キーを押しながら電源を入れる
技術基準適合証明番号の表示	[1W/5W] キーを押しながら電源を入れる

エラー表示/動作表

エラー表示	動作
RELEASE MIC BUTTON	・ PTT が押された状態で電源が入ったとき (警告音/表示) ・ 送信時間が 5 分以上超えるとタイムアウトタイマーが動作して自動で送信停止する (警告音/表示)
BATTERY HIGH	無線機に電源電圧が 17V 以上供給されたとき (警告音/表示)
BATTERY LOW	無線機に電源電圧が 10V 以下供給されたとき (警告音/表示)

※警告音は電源を入れた初回時のみ鳴ります。

最新の商品情報やサポート情報は、ホームページにてご覧いただけます。

https://unidenholdings.jp/uniden_jp/

⚠️ 安全に関するご注意

ご使用前には取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。

- 取り付け・取りはずしは専門の技術者に依頼してください。
- 操船や乗り降りの妨げにならないように配線してください。

取扱説明書は、右記のホームページにてご覧いただけます。

https://unidenholdings.jp/uniden_jp/support/manualdl.html

愛情点検



長年ご使用の製品の点検を！

熱、湿気、ホコリの影響や、使用度合によっては部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながる場合があります。

このような
症状は
ありませんか

- ケーブルが傷んでいる。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 内部に水や異物が入った。
- 正常に動作しなくなった。

ご使用中

故障や事故防止のため、本機を取り外し必ず<ユニデン>お客様センターにご相談ください。

保証書に関するお願い

- 保証書にはお買い上げ日をご記入の上、領収書や納品書などのご購入証明書と共に大切に保管してください。
- 保証期間・保証規定については保証書の内容をよくご確認ください。保証期間中でも有償修理になる場合があります。
- 本製品の補修用修理部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年間です。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。但し、部品製造者側での早期製造打ち切りや入手困難な状況に伴い、期間満了以前に対応出来なくなる場合がありますので予めご了承願います。

注意事項

- 本機は日本国内向け仕様となっております。
- 製品の仕様およびデザインは、改善等のため予告無く変更する場合があります。
- お客様から弊社にお電話にてご連絡いただいた場合、正確な対応のため、通話内容を記録・録音させていただくことがあります。
- ユニデンホールディングス株式会社およびその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や配送・修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
- 電話受付時間は、諸般の事情により予告無く変更する場合があります。電話受付は、土・日・祝日・年末年始など特定の期間に休ませていただく場合があります。
- 本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の登録商標または商標です。

<ユニデン> お客様センター

当社製品のお取り扱い方法など、ご不明な点は下記にご相談ください。

サポートダイヤル

03-5543-2232

E-mail

usupport@uniden.co.jp

<ユニデン> 製品情報サイト

https://unidenholdings.jp/uniden_jp/

UCM100pro 取扱説明書

発行日： 2023年12月 第1版
ユニデンホールディングス株式会社
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 2-3-1
<https://unidenholdings.jp/>

本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめ、ご了承ください。本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

©Uniden Holdings Corporation
U01UT666BZZ(0)